

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施 策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・ 様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査のための人材育成		
		積極的疫学調査等の研修の受講者数(累計)		
		20名	20名(40名)	20名(60名)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部地域保健課		【 098-866-2215 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	沖縄県IHEAT事業		
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額
各省計上	補助	1,022	1,144
令和7年度活動内容			
新興・再興感染症要請者確認と積極的疫学調査を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組んだ。			

(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県IHEAT事業	
R8年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	補助	3,925
令和8年度活動計画		
新興・再興感染症要請者確認と積極的疫学調査を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組む。		

活動指標名	積極的疫学調査等の研修の受講者数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	18名	20名	90.0%	順調	感染症の実地疫学調査に関して、最新の科学的知見に基づいた専門的な知識や技術を習得するために国立感染症研究所が実施した講習を関係機関及びIHEAT要員に案内し、18名が受講した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

すでに受講済みの県職員も多かったため、令和7年度の講習は、令和6年度に基本研修を終えているIHEAT要員にも案内し、前年度より4名増の18名の受講となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の実施改善案	反映状況
案内の対象を、前年度に県が主催した研修や訓練を受講したIHEAT登録者や今後感染症対策に従事することが見込まれる県職員と広げ、達成率の向上に努める。	感染症担当職員のみならず、今後感染症対策に従事することが見込まれる職員も受講した。また令和6年度にIHEATの研修や訓練に参加したIHEAT要員へも講習の案内を実施し、6名が受講した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	案内の範囲を広げた結果、県職員とIHEAT要員合わせて24名の受講申し込みがあったが、受講完了したのは18名にとどまり、想定を下回った。	⑦ 取組の時期・対象の改善	案内の対象を広げたことで、申込数は以前より増えているが、全員が受講完了できるように、定期的に進捗状況を確認し、達成率の向上に努める。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施 策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化を図る。	県	積極的疫学調査等の保健所業務におけるデジタル化推進		
		新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催(全体演習回数)(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部地域保健課		【 098-866-2215 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）



2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
アイソレーター等感染者搬送機器の動作確認訓練を各保健所で実施し、kintoneを利用して、本庁で一括して機器の状況を把握することができた。				感染症拡大時に必要とされる業務を洗い出し、その業務の効率化に対応した訓練を行う。		

活動指標名	新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催（全体演習回数）（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		各保健所が保有しているアイソレーター等感染者搬送機器の動作確認を保健所あて依頼し、kintoneを利用して、画像等を共有し、データを集約した。
	—	—	1回	1回	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

動作確認訓練の結果、各保健所のアイソレーター等の配備状況をクラウド上で確認でき、課内で共有することができた

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
○感染症拡大時に必要とされる業務（搬送など）を洗い出し、その業務の効率化に対応した訓練内容への更新を検討する。	新型コロナウイルスの5類位置付け変更後は、RPA動作訓練の効果が薄くなったため、各保健所が保有しているアイソレーター等感染者搬送機器の動作確認訓練に変更し、保健所業務の効率化を図った。

様式 1 （主な取組）



3 取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	クラウド共有により本庁側の集計効率は向上したが、保健所からは操作性や実務での使いづらさを指摘する声も上がった。加えて、現状の平時フェーズに即した柔軟な訓練内容見直しの必要性も顕在化している。



4 取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	各保健所等が策定している健康危機対処計画も参考にしながら、感染症発生およびまん延時に必要とされる業務を洗い出し、その業務の効率化に対応した訓練内容への更新を検討する。